

1994年(平成6年)ファッションタウンの黎明

# ファッションタウンへの道筋を探る

桐生を思う多くの人たちが作り上げたファッションタウン・ビジョン。これを“絵に描いた餅”には決してしない。増山作次郎桐生商工会議所会頭は強い決意で構想具現化に取り組みました。ビジョン策定メンバーを中心とした「都市ファッション化推進懇談会」を組織化し、どうしたら桐生の明るい未来を実現していくか、彼らにその道筋の模索を託しました。

一方、ファッションタウンの考え方は全国へと広がり、21世紀型の産地改革に向けた一つの回答となりました。桐生商工会議所は日本ファッション協会、通商産業省、国土庁と共催で、「桐生ファッションタウン・シンポジウム」を開催。元ヴェニス建築大学長のパオロ・チェッカレーリ氏の基調講演「感性が響き合う都市」は、都市に新しい息吹を与える五感で感じる“感性都市”の考え方は桐生のファッションタウン推進に大きな参考となりました。



“感性が響き合う都市”こそファッションタウン



ビジョン具体化に向けて検討協議を行った「推進懇談会」。3回にわたる会議の結果、活動の母体となる「推進協議会」を組織し、ファッションタウン化につながる諸事業を展開していくことを決めました。

## 推進協議会組織化を答申



シンポジウムの後の懇親パーティは、フルーツとハーブの演奏会、餅つきが行われ、楽しい会となりました。